



vol.33

2014

グループホーム こんびら

行事報告

サンライズ こんびら

行事報告

利口げな話

特集:「へえ〜っ、そうなんだ!?
~昔の人はすごい!!~」第27回

取り組み:「入居者様の安全を守るために」

編集後記

関連機関

グループホーム こんびら
サンライズ こんびら

こんびら



KEIRYOKAI
produced by
医療法人圭良会

●基本理念

家庭的温かさ・個人の尊厳を大切に、豊かな生きがいのある共同生活が送られるよう、家族の一員としての介護支援を行います

●基本方針

- 1.家庭的で安全な療養環境を提供します
- 2.24時間家族の一員がそばにいる安心感がもてるよう介護支援を行います
- 3.自分らしさを尊重した生活が送られるよう入居者の健康増進を図り個性のある介護支援を行います



～七夕～

7月6日に七夕会を行いました。バイキング形式の食事とお好み焼きを目の前で焼き、提供しました。できたて熱々のお好み焼きは「おいしい」と大好評でした。その後ゲームやホームの様子をビデオ上映し、笑顔の絶えない和やかな会となりました。笹には「彦星と織姫が逢えたらええな」と話しながら願い事を込めた短冊を吊りました。

～外食～

月に一度、外にでかけて食事をする機会を設けています。行き先は入居者様と食べたいものを話し合ってお店を決めています。入居者様同士で以前行って良かった店など、情報交換をして決めたりもしています。今回は、昔よく行っていたというお好み焼き屋さんに行き、なつかしい味を皆で楽しくいただきました。普段とはひと味違ったものが味わえるので、外食の日を心待ちにされているようです。



～お誕生日のプレゼント作り～

グループホームこんぴらでは、入居者様のお誕生月にお誕生会を行っています。職員からはバースデーカード等をお渡ししています。今回は入居者様からのプレゼントということでランチョンマットを作っていました。入居者様も心をこめてランチョンマットを作成することができ楽しんでおられました。お誕生日の方にプレゼントを渡すと、とても喜ばれ、毎回食事の時に使用されています。



取り組み 入居者様の安全を守るために

当ホームの入居者様は大半が80歳以上の方です。常に転倒や怪我等の危険性と背中合わせです。入居者様に安全に生活していただく為には、未然に事故を防ぐ必要があります。職員も危機意識を高め、事故に至る前に気付く必要があると考えています。

グループホームこんぴらでは、毎月一度の職員のミーティング時に『危険予測トレーニング』として、写真から様々な危険を予測し、事故になる前に気付く力を養えるような取り組みを行っています。また、入居者様の状態によっても危険とされる事が違うため、職員間での情報交換や対策について話し合う機会を持つようにしています。入居者様により安心して過ごしていただけるよう、今後も取り組んでいきたいと思ひます。

●基本理念

住み慣れた地域の中で、その人らしく暮らし続けられるよう、在宅生活の支援を行います

●基本方針

1. 通い泊まり訪問のサービスを、随時組み合わせた介護支援を行います
2. 地域の中での関係を大切に継続するとともに、個性を尊重した支援を行います
3. 365日24時間切れ目のない安心した在宅生活が送れるような支援を目指します

～七夕会～

7月6日七夕会を行い、ご家族様や地域の方など多くの方に参加していただきました。最初の体操は、体だけでなく頭の体操として、職員に負けるように出す「後出しじゃんけん」を行いました。先に出した職員につられて、間違ってしまう方が多く、笑い声が響いていました。食事はカップ寿司やそうめん、なすの揚げ浸しなどを提供しました。おいしいと好評で、たくさん食べられていました。最後に短冊を書いて笹の葉に飾りました。



～レクリエーション～

サンライズでは日中さまざまなレクリエーションを行っています。利用者様に楽しんでいただこうと、身近にあるものを工夫して使っています。自分の順番では真剣に、他の方が行っている時は応援したりと、皆様楽しまれています。

～保育所交流会～

7月8日、琴平町立北保育所の子供たちがサンライズに来てくれて、交流会を行いました。子供たちはちょうど自分のひ孫と同じくらいの年齢です！皆で一緒に手遊びを行ったり、魚釣りゲームを行いました。利用者の皆様も職員も自然と笑みがこぼれ、優しい気持ちに包まれているようでした。子供たちの帰り際には、「ばあちゃんとまた遊んでなあ～」と、少し悲しそうでしたが、楽しいひと時を過ごすことができました。



利口げな話

認知症や介護について、分かりやすく説明したいと思います。

第6回 ～治る認知症もある～

ひとくちに認知症といっても、その原因はいろいろなものがあります。脳卒中後に発症する「脳血管性認知症」や、脳神経の数が減少していく「アルツハイマー病」などは治らないと言われていますが、中には治る認知症（認知症の症状が軽くなる）ものもあります。頭部外傷後に頭に血がたまる硬膜下血腫や頭の中に脳脊髄液という水が大量にたまって起きる水頭症、ホルモンの異常などがあてはまります。さらには薬によって認知症の症状が現れる事もあります。これらは、適切に治療をする事で認知症の症状が軽くなる可能性があります。認知症もしくは認知症を疑った場合でも、治らないと決めつけないで、一部には治る認知症もあるという事を認識してください。認知症の原因が何かを知る事、そのためには精神神経科などの専門の病院を受診し、早期診断・早期発見する事が大切です。

(参考文献:認知症のお年寄りへの対応 編集/順天堂大学医学部精神医学講座教授 新井平伊)



特集

へえ〜っ、そうなんだ!?
〜昔の人はすごい!!〜

第27回



❗ 冷蔵庫の受け側にキッチンペーパーを

普段は閉めっぱなしの冷蔵庫。お掃除もつい忘れがちになります。しかし冷蔵庫の受け棚には透明のものが多く、うっかり水や麦茶をこぼしても、あまり目立ちません。そこで、受け棚にキッチンペーパーを敷きます。キッチンペーパーは通気性がよく、水にも強く、色も白いので汚れたら一目でわかります。汚くなったら新しいものに取り替えるだけ。掃除の手間もいりません。

❗ 打ち水でお金をかけず涼しくなる

蒸し暑い夏、手桶の水をひしゃくで庭や道路にまいておく。昔はめずらしくない光景でした。これは、ほこりを立てずに掃除をする知恵ですが、同時に、水が水蒸気になるときに熱を奪うので冷房効果もあります。手桶とひしゃくがなくても、ホースで水をまけば涼しく夏をすごせます。



*昔から、「おばあちゃんの知恵」といわれているものは、長年の経験に基づいた先人たちの知恵の凝縮です。わたしたちも入居者の皆様から、たくさんの「へえ〜っ、そうなんだ!?!知らなかった〜!昔の人はすごいなあ〜」と、実感できるアイデアを日々、教わっています。

(参考文献:宝島社 おばあちゃんの知恵袋 決定版 生活のコツ700 編集/佐藤倫子)

編集後記

暑い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。「暑い暑い」とグチをこぼしてみても、さらに暑さが増すだけです。せつかくの夏ですから夕涼みを楽しんでみませんか?庭やベランダに、縁台と蚊取り線香と風鈴を用意して、手にはうちわを。さらに浴衣を着て、家族やご近所の人とお話をしながら夕涼みをすれば、昔の日本にタイムスリップ!やさしい風にしばし暑さも忘れてしまうかも…。

グループホームこんびら・サンライズこんびら広報誌「こんびらだより」第33号

発行元: 認知症高齢者グループホーム こんびら 編集者: グループホーム こんびらだより発行部

住所:〒766-0002 仲多度郡琴平町167 TEL:0877-73-0811 FAX:0877-73-0812

ホームページ <http://www.eisei-hp.or.jp/> (永生病院のホームページよりお進みください)

eメールでのお問い合わせは keiryokai@eisei-hp.or.jp

発行年月日:平成26年8月1日



支援医療機関・介護保険事業所



永生病院

〒769-0311
仲多度郡まんのう町買田221-3
Tel 0877-73-3300



森内科 (グループホームこんびら 建物の1階)

〒766-0002 仲多度郡琴平町167
Tel 0877-73-4188

グループホームこんびら

Tel 0877-73-0811



サンライズこんびら

(小規模多機能型居宅介護)
〒766-0004
仲多度郡琴平町榎井字池田451番地1
Tel 0877-58-8600

● いこいの郷 (居宅介護支援事業所) Tel 0877-73-3655

● いこいの家 (通所介護) Tel 0877-73-3718

● げんきの郷 (通所介護) 〒769-0311 仲多度郡まんのう町買田102-1
Tel 0877-58-8811

